

南山大学図書館報

ΔΥΝΑΜΙΣ

～デュナミス～

No.35 1999.4.1

図書館・本屋・大学教育

林 雅代

いまどきの学生は本を読まないと言われて久しい。私自身、そう言われる時代に大学生活を送った一人である。私が大学生の頃には、大学生ならマルクスを読むのは当然といったような学生文化はとうに失われていたし、学生は講義用のテキストすら買わなくなっていた。そんな中で、日本の学生と比べてアメリカの学生はよく勉強するという話をしばしば耳にしていた。

確かに、大学院時代の最後の半年を過ごしたアメリカの大学で私が見たのは、キャンパスのあちこちで本を読む学生の姿と、彼ら彼女らをサポートする充実した図書館であった。南カリフォルニアの抜けるような青空の下、学生は芝生の上や木陰で本を読んでいる。レンガ造りの美しい学部生用の図書館に一步足を踏み入ると、静寂の中で黙々と本を読む学生たちがいる。味気ない建物の研究用図書館も、中には膨大な数の図書がおさめられており、ペーパーを書くのに必要な文献は、日本語のものさえほとんど間に合うほどに充実している。勉強しないと嘆かれる日本の大学生ですら、留学したとたん不思議と勉強してしまうような雰囲気が、そこには用意されていたのである。

だが、アメリカの学生が手放しに賞賛されているものか、考えさせられる出来事もあった。一ヶ月後に帰国を控えた1997年2月15日、留学先の大学の生協が Anti-Valentine's Day Sale と称して、全品25%オフにする企画を打ち出した。日本に戻ると買いにくくなる洋書を買っておく絶好の機会とばかりに、私は胸を躍らせた。前日までに書籍部をくまなく歩き回ってめぼしい本をチェックし、当日

はいつもよりずいぶん早起きしてルームメイトを驚かせた。なにしろ、西海岸だけなのかは分からないが、セール時の店の開店時刻はやたらと早いのである。そうして書籍部に出かけていった私が目にしたのは、定価の25%オフで本が買えるという滅多にない日であるにもかかわらず、私の他にはほとんど誰も客がないという光景だったのだ。学期のはじめのテキスト売り場はいつも、朝早くから行列ができるほどの盛況ぶりだというのに…。

アメリカの大学は大衆化の過程で、コースワークを導入した。学生は学期のはじめに、自分の登録したコースで指定されたテキストを購入して、毎回の授業のためにリーディング・アサインメントと呼ばれる「宿題」をやる。学生が熱心に読書に励むのは、このためなのだ。コースが終了すると、多くの学生はテキストを売り払ってしまう。コースワークは、ある特定のテーマに関する知識を体系的に習得するには有効だけれども、その反面、学生が自らそのテーマについて主体的に本を選び読むことを、しばしば妨げてしまっているようにも思われる。そのアメリカの大学でも、「宿題」をやっけてこない学生が近年増えてきているとも聞く。

「宿題」でしか本を読まないアメリカの学生と、「宿題」すらほとんど課されることのない日本の学生のどちらが幸いなのか、私には本当のところよく分からない。ただ、図書館も、本屋も、大学の授業も、知に対する学生の主体性なくして活かされないのは、どちらの国でも同じである。自分の大学生の頃への反省もこめて、そう思う。

(Masayo HAYASHI: 文学部教育学科講師)

新入生歓迎企画展

よく遊びよく学べ

4月3日(土)

～4月17日(土)

1階ブラウジングコーナーにて開催

～新入生のあなたに、“知”へのヒント贈ります～

"知"とは体系だった学問のみにとどまるものではありません。自分の目を見て、肌で触れて、心で感じたこと全てが、様々なかたちの"知"へたどり着くヒントとなるのです。ここにあげたのは図書館にあるそうした知の欠片かけらのほんの一部です。ぜひこの機会に、あなた自身の目で、肌で、心で、幾千とある知の欠片かけらを集めてみてください。

———あなたのたどり着く"知"とはどんなものなのでしょうね。

旅行

南イングランドを歩く	著者名/ 出口保夫 文・イラスト	請求番号/ 293K/583
リンボウ先生ディープ・イングランドを行く	林望 写真と文	915K/367
ウィーン四季暦	池内紀 文 ルイス・このみ 画	293K/589
南仏プロヴァンスの風景	ピーター・メール著	954K/588
ドイツ地ビール夢の旅	相原恭子著	234K/1489

留学

留学ジャーナル	著者名/ 国際文化教育センター	請求番号/ ブラウジング
成功する留学	地球の歩き方編集室編	1F
25の事例に学ぶアメリカ留学生活体験ブック	Ann Helm[ほか]著	377.6K/253
海の向こうで暮らしてみれば, [Part 1], Part 2	創都・毎日放送, 双葉社編集	916K/239/v.1 ~ 2
海外で働きたい!		366.2K/896

資格・就職・職業

大学生の資格・ライセンスブック '97	著者名/ 資格試験研究会編	請求番号/ 366.2K/859
女性の就職、それから	市川幸子著	366.3L/307
なるにはボックス		1F
この仕事は何をするの?	日本労働研究機構編	ブラウジング
'99 公務員試験オールガイド	資格試験研究会編	1F

心の本

Life : 高砂淳二写真集	著者名/ 高砂淳二著	請求番号/ ブラウジング
ブッタとシッタカブッタ	小泉吉宏著	ブラウジング
生きることはずいこと	安野光雅, 河合隼雄著	ブラウジング
ワンダーエイジ 1・2	春田倫弘, 服部貴康編	ブラウジング
現代のエスプリ	至文堂	Z/031/G34

映画・演劇

ディートリッヒ自伝	著者名/ マレーネ・ディートリッヒ著	請求番号/ 778K/338
フィルムの中の女	田嶋陽子著	778K/351
フランス映画 1943～現代	マルセル・マルタン著	778K/322
マリリン	グロリア・スタイネム著	778K/427
キネマ旬報		ブラウジング

ミュージカル

劇団四季 MUSICALS	著者名/ 安倍寧著	請求番号/ 775K/238
モア ミュージカル	御木平輔著	775K/236
ミュージカルを楽しむ法	野口久光著	775K/237
ブロードウェイ物語	ロバート・ヴィアガス [ほか]著	775K/214
キャッツ: ポッサムおじさんの猫とつき合う法	T. S. エリオット著	081K/2425/v.0-31

歌舞伎・落語

	著者名 /	請求番号 /
江戸歌舞伎への招待		774K/260
カブキ 101 物語	渡辺保編	774K/250/v.0-1
隈取り	伊藤信夫著	774K/267
をどりの衣裳デザイン	尾上菊雅著	769C/204
落語への招待		779K/217
芸人	永六輔著	081K/2356-3/v.528

スポーツ・トレッキング

	著者名 /	請求番号 /
図解あそびの事典	東陽出版[編]	781K/301
巨人軍の基礎体カトレーニング	安野鉦二著	781K/320
世界サッカー史	オールドジップ・ジェルマン著	783K318
トレッキング スイス・アルプス	上瀧陸生, 上瀧タツ子著	293K619
ネパール・ヒマラヤトレッキング案内	中村昌之, 内田良平著	292K/593

アウトドア

	著者名 /	請求番号 /
自転車コースガイド 信州エリア	御子柴慶治[ほか]編	786K/216/v.0-2
信州・東海 MTB ツーリングブック	山岳自転車研究会 MtF 編	786K/218
イラストマニュアルアウトドア入門	斉藤融イラストレーション	786K/215
カヌーツーリングブック	藤原尚雄, フィールドワークス著	785K/220
鍋釜天幕団フライバン戦記	椎名誠編著	915K/366

法律相談・悩み相談

	著者名 /	請求番号 /
若い女性の法律ガイド	大谷恭子, 福島瑞穂著	QP1/-005977
夫婦・親子の法律相談	市橋千鶴子, 高石昌子編	324.6K/792
二十歳(はたち)の法律ガイド	木村晋介[ほか]著	320.4K/319
家族の問題Q & A	頼藤和寛著	367.3K/505
あなたはひとりで悩みすぎ	榎本千賀子著	159K/246

自動車・モータースポーツ・コレクター

	著者名 /	請求番号 /
メルセデス・ベンツに乗るとのこと	赤池学, 金谷年展著	537K/319
カー・ウォーズ	ジョナサン・マントル著	537K/315
マン・マシンの昭和伝説 上, 下	前間孝則著	530K/216/v.1 ~ 2
自動車	リチャード・サットン著	537K/339
二ホン車の悩み (別冊宝島: 163)		537K/289

酒・グルメ

	著者名 /	請求番号 /
Dancyu= ダンチュウ 1999.2 号特集		ブラウジング
The new Chinese cooking for health and fitness	Lydia Wang	596C/250
アイスクリーム図鑑	日本アイスクリーム協会[編]	596K/252
革命的夜食講座	高島英治著	596K/235
おいしい食卓のマナー	渡辺誠著	596K/240

恋愛・男と女

	著者名 /	請求番号 /
恋愛の英語: 男と女の名文句	大内博, 大内ジャネット著	081K/2432/v.1285
ウエディングドレスはなぜ白いのか	坂井妙子著	385.4K/218
「愛」こころの動き	中村雅彦著	141K/1121
朝日新聞の記事にみる恋愛と結婚. 明治・大正	朝日新聞社編	367.4K/279/v.0-1
朝日新聞の記事にみる恋愛と結婚. 昭和	朝日新聞社編	367.4K/279/v.0-2

インターネット・コンピュータ

インターネット中毒者の告白	著者名/ J. C. ハーツ著	請求番号/ 547K/640
インターネット激動の1000日 上,下	ロバート・リード著	547K/688/v.1 ~ 2
インターネットを使いこなそう	中村正三郎編著	081K/2435/v.283
インターネット情報入手ガイドブック	池田冬彦著	547K/709
インターネットはからっぽの洞窟	クリフォード・ストール著	547K/672

美術・絵画・写真

ロバート・キャパ：時代の目撃者	著者名/ リチャード・ウィーラン 解説	請求番号/ 748K/276
なぜ、これがアートなの？	アメリア・アレナス著	704K/242
復刻マザーグースの世界		909/104/v.0-1 ~ 30
レオナルド＝ダ＝ヴィンチ鏡面文字の謎	高津道昭著	702K/1156
美術の森の巨人たち	北嶋廣敏著	702K/1157

常識・社会問題

空想科学読本 2	著者名/ 柳田理科男著	請求番号/ ブラウジング
AERA	朝日新聞社編	Z/031/A17
週刊金曜日	金曜日	Z/031/Sh99
情報・知識 imidas : イミダス		R/813/427(各階参考欄)
全国アホ・バカ分布考	松本修著	818K/369

宗教

手塚治虫の旧約聖書物語 1・2・3	著者名/ 手塚治虫製作総指揮	請求番号/ 193K/1834/v.1 ~ 3
「星の王子さま」と聖書	ルドルフ・プロット著	193K/2066
いまどきの神サマ		169K/234
世界「宗教」総覧		160K/756
住職・神職・神父の地位	大家重夫	165/104/v.4

ボランティア

ボランティア	著者名/ 金子郁容著	請求番号/ 081K/2356-3/v.235
ボランティアが世界を変えた	八木哲郎著	369K/457
できることからボランティア	福岡政行編著	369K/450
いま！日本語ボランティア	日本語ボランティア講座編集委員会編	810K/1276/v.0-1
あなたにも参加できる海外国際協力とボランティア活動		369K/354

健康・医学

恐怖の加工食品	著者名/ 郡司篤孝著	請求番号/ 498K/405
ストレスに強くなる心の健康学	飯田恭子著	498K/543
朝から寝るまでの心とからだの処方箋	永井明著	ブラウジング
中国医学の健康術	小高修司著	081K/2432/v.1316
コンピュータユーザのための健康サバイバルガイド	Joan Stigliani 著 ; 矢部丈訳	498K/584

ガーデニング

シーズンインスタイル	著者名/ レン・オークメイド著	請求番号/ 627K/203
Cotswold gardens	David Hicks	629K/280
Gardens of the world	ベネロープ・ホブハウス[ほか]編	629K/286
庭仕事の愉しみ	ヘルマン・ヘッセ著	944K/457

名古屋

ライカ同盟NAGOYA大写真	著者名/ 赤瀬川原平[ほか]著	請求番号/ 748K/262
新100%名古屋人	船橋武志著	361.6C/1186
名古屋弁重要単語熟語集 [1]・2	船橋武志著	818C/365/v.1 ~ 2

冬日消閑

■ 冬
日
消
閑

櫻井 進

今年の正月は、医師から静養を命じられ、なすこともなく、冬の短い日々を楽しんだ。とは、いつでも、二週間もぶらぶらするわけにもゆかず、数冊の書物を、暇に任せて繙いた。そのなかに、テツオ・ナジタ『懷徳堂』（岩波書店）、ワルター・ベンヤミン『パサージュ論』があった。奇妙な取り合わせだが、いろいろと考えさせられた。テツオ・ナジタ氏は、アメリカの日本研究をリードする研究者で、『懷徳堂』も、刊行直後、原書でむさぼるように読んだ記憶があり、邦訳にも参加し、私の江戸の見方に大きな影響を与えた書物であった。しかし、ある時期から、ナジタ氏の見方に違和感を抱くようになってきた。それは、江戸中期の大坂の幕府公認の学問所である懷徳堂に、身分を超えた水平的な人間関係に根ざした知的活動が存在したとする論点である。ナジタ氏の議論が、ドイツの社会学者ユルゲン・ハバーマスのブルジョワ公共圏をめぐる議論に依拠しているのは、あきらかだが、十九世紀の西洋のブルジョワジーのサロンで行われた自由な議論の場が日本にも存在し、そこから日本の「近代」を江戸中期に発見しようとするものである。しかし、ブルジョワジーの自由はあくまでも、プロレタリアートという非ブルジョワジーや植民地の排除によって成立していることを忘れるわけにはゆかない。懷徳堂の儒者たちは、鬼神を否定する無鬼論を展開したが、それは、たんなる「合理主義」からではなかった。社会の上層をしめる上層町人たちが、いわれのない魑魅魍魎の世界やシンクレティズムに惹かれて行く民衆が、社会秩序を破ることを恐れたからだともいえる。西洋史の領域では、十九世紀の二月革命や五月革命がプロレタリアートの乱痴気

騒ぎによって生み出されたことが指摘されているし、江戸でも、おかげまいりなどはそのような性格を持っていたはずである。

こんなことを、暇に任せてあれやこれや考えていると、ベンヤミンの仕事も意外と江戸の読解にとって意味のあるものになってくるような気がする。難解なベンヤミンの『パサージュ論』を限られた紙数の中で解説することはほとんど不可能だが、ベンヤミンが目にしたのは、十九世紀パリで、特定の社会階層に属さない「遊民」であり、「生きられる空間」としてのパリのイメージがどのようなプロセスで生み出されてきたかを問題にしたのである。私も前著『江戸の無意識-都市空間の民俗学』（講談社現代新書）で、江戸がどのようにして漂泊民の視座から見いだされたかを論じたことがある。問題は、歴史記述の視座をどこに置くのかという点に関わっている。視座の変更によって、歴史的記述のあり方も大きく変化するはずである。

さらに、ベンヤミンの『パサージュ論』が刺激的であったのは、彼が十九世紀後半のパリの事態として描き出している光景が、十八世紀後半以降の江戸の光景に類似している点である。この点に関しては、詳細な検討が必要だが、百万以上の人口を抱える江戸が、パリと類似した光景を出現させていたとしても不思議なことではない。

あれこれと、冬日消閑の妄想を書き連ねてきたが、これから一年ほどかけて、以上のようなテーマで一冊書き下ろす予定である。消閑の妄想に浸っている時間はもうあまりないのかもしれない。

(Susumu SAKURAI :

外国語学部日本語学科助教授)

資料紹介

Chartae Latinae Antiquiores

Faksimileausgabe saemtlicher lateinischer Urkunden bis zum Jahre 800

Edited by Albert Bruckner & Robert Marichal

【写真版:ラテン古文書集成】 1~24,41~48巻

請求番号[022/231/v.1~24, v.41~48] 書庫 地下2階

西欧中世史(800年以前)研究の本格的資料集です。当時パピルスや羊皮紙に書かれたラテン古文書で、確認できるすべての文書を原寸大で復刊し、MGH^(註1)にも含まれない数多くの画像資料を収録しています。全48巻のうち24巻までを所蔵していましたが、今回の購入で41~48巻までが揃いました。

ラテン碑文集や写本など他の資料との重複を避けて収録されており、また、原文に対して詳細な解説と批評が各国語で加えられているという点で、古代から中世初期までの歴史の分野のみならず、ラテン語学(古文書学)にとっても第一級の価値を有する資料です。さらに各巻の編集には欧州各国の国際的協力がなされており、今世紀最高水準の成果をもつ貴重な資料と言えるでしょう。今回購入した巻の収録国は下記の通りです。47巻は補遺、48巻は正誤表となります。

v.41-42 Egypt

v.43-45 Austria

v.46 Belgium, Greece, Ireland, Israel, Norway, Holland,
Republic of Georgia, Spain

(注1)

MGH: Monumenta Germaniae Historica (モヌメンタ・ゲルマニアエ・ヒストリカ)の略
1819年プロイセンの政治家シュタインの発議で設立された「ドイツ古史学協会」によって
発刊の準備がなされた総数200巻以上におよぶドイツ中世史料の集大成。史家部・法
律部・文書部・書簡部・古事部の5部門にわけて刊行されています。ドイツの著名史
家の多数がその編集に携わっており、ドイツ中世史を研究するうえでの史料の宝庫で
す。Chartae Latinae Antiquioresと併せてこちらも重要な資料。

当館においては、請求番号を各分野に細分化して234/725/ ~, 234/726/ ~,
234/727/ ~, 234/728/ ~, 234/731/ ~, 234/732/ ~ 等で所蔵しています。

<参考文献> 京大西洋史辞典編纂会編『新編 西洋史辞典 改訂増補』東京創元社 1993

早稲田大学坪内博士記念演劇博物館所蔵

役者評判記

第2期 安永2年～享和4年(マイクロフィルム版30リール および収録目録)

早稲田大学演劇博物館 編

請求番号[MMR/774/1/v.57～86(30リール), MMR/774/1-A/v.2(収録目録)] マイクロ室 地下1階

役者評判記は、歌舞伎役者の芸評を記した書で、歌舞伎研究の基本史料の一つです。立役・敵役・女方を中心に役者の芸を論評しており、台本や番付といった資料とならんで大変貴重な資料と言えるでしょう。役者評判記は、歌舞伎の成立直後、万治3年から明治20年代まで、京都・大阪・江戸・その他の地域にわけてほぼ毎年刊行されていますが、今回揃えた第2期は江戸時代中頃にあたる約30年分を収録しています。

江戸時代の歌舞伎は、その筋(物語)において、先行の文芸作品から当時の事件に至るまで実に多様なものを取り込んでおり、また、その衣装、音楽、背景等、種々の文化をも取り込んで成立しているため、歌舞伎研究のみならず、江戸文化・江戸文学・近世語・情報論など広い分野の理解、研究において、必要不可欠で重要なものです。本資料の翻刻は既に明和年間あたりまで進められていますが、複製とはいえ、もとの版本をみることは、大きな意義のあることではないでしょうか。

文部省行政資料

文部省 編

復刻版 全18巻・別巻1(総目次)

請求番号[373.2/361/v.1～18, 373.2/361-A(別巻)] 書庫 地下1階

戦後における文教関係の基本資料といえるもので、終戦に伴って改廃された法令から、GHQの指令、その後の文部省関連の法令・閣議決定・省令・告示・通達などの行政資料のうち、重要なものを選択し集成されています。当初は文部省大臣官房文書課が編集し、『終戦教育事務処理提要』という書名で発行、第5集より『文部省行政資料』と改められ昭和21～41年の間に年1冊のペースで18集が刊行されました。

終戦以降、GHQによって日本の教育行政がいかに改革され、行政が文部関連の法律をどのように運用し、文教上の問題にどう対処していたかが具体的にわかり、また、敗戦の年から年次ごとの教育行政動態も示されるなど、戦後教育史において価値のある資料です。教育学・教育史・教育制度史・教育行政などの研究をはじめ、近現代史の研究にも役立ちます。

(Takako MAKINO : システム係 牧野 多完子)

南山大学図書館に所蔵されている本や雑誌、
CD-ROMなどのうち“知っててよかった！”
そんな資料を取り上げて紹介するコーナーです。

シェイ ヒスク J-BISCの世界へようこそ

本や雑誌論文についての情報などを調べるため、図書館にはいろいろな道具が用意してあります。道具といっても、そのほとんどは本ですが、最近ではCD-ROMやインターネットといった具合に、形態も様々になってきています。そんな調べる道具(=レファレンス・ツール)の1つに**J-BISC**というCD-ROMがあります。今回はこのJ-BISCについて紹介したいと思います。

J-BISC?

日本国内で出版されている日本語で書かれた本の情報を得るのにお勧めのツールが、J-BISC。J-BISCとは、Japan Biblio-Discの略のことで、直訳すれば“日本、書誌のディスク”。しかし、これでは日本語とはいえ、何のことやらさっぱり、ですよ。簡単に言ってしまうと、国立国会図書館が所蔵している本のデータ(書誌情報)を集めた、蔵書目録のCD-ROM版のことです。ご存知の方も多いかと思いますが、納本制度によって国立国会図書館には日本全国から様々な本が集まってきます。そして、日本国内で出版される本の約7割は収蔵されると聞きます。これほど高い網羅性を誇る国立国会図書館の蔵書目録(全国書誌)ですから、日本国内で出版された本の情報を得るにはJ-BISCを利用しない手はありません。ただし、J-BISCに収録されていない年代の古いものについては、『国立国会図書館蔵書目録』(R/029/8~10)か『日本件名図書目録』(R/027/142)『日本著者名図書目録』(R/027/142-1)『帝国図書館和漢図書書名目録』(R/029/304)などを使って探してください。

●まめ知識●

納本制度：国の財産としての出版物を網羅的に収集することを目的に、国立国会図書館法という法律によって、日本で刊行された刊行物は、「国立国会図書館に納入しなければならない」とその発行機関に義務づけがされています。これが納本制度です。

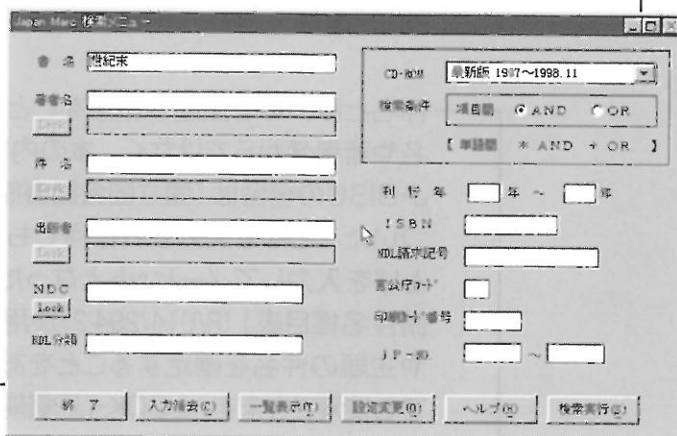
全国書誌：その国の国内で刊行された出版物を網羅的に収録したリストのこと。日本では『国立国会図書館蔵書目録』がこれにあたります。

How to ... ?

J-BISCは、書名・著者名・件名・NDC(分類番号)・出版社・刊行年などからの検索が可能です。ここではまず、最も基本的な使い方についての紹介をします。

●書名検索

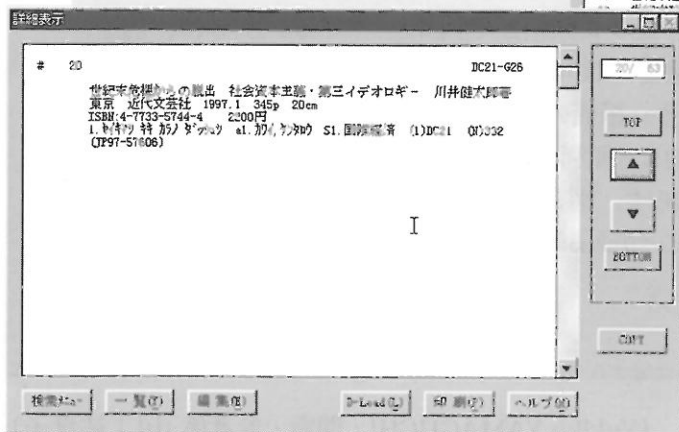
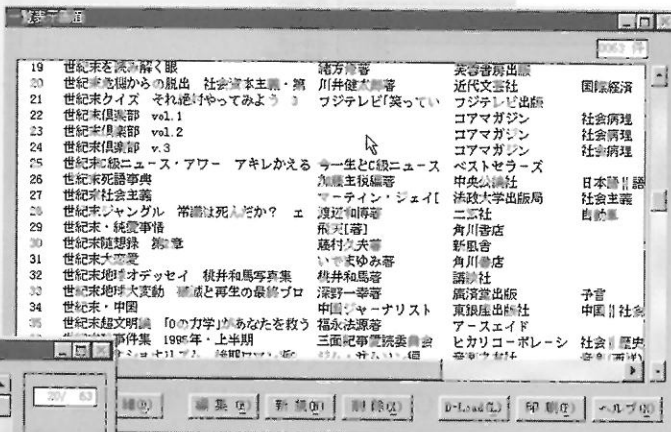
探している本の書名を入力して検索します。書名を全部覚えていない場合でも、前方一致検索や書名に含まれる単語からの検索が可能で、漢字が書けない時は書名のヨミからの検索もできます。



例:『世紀末危機からの脱出』を探している場合

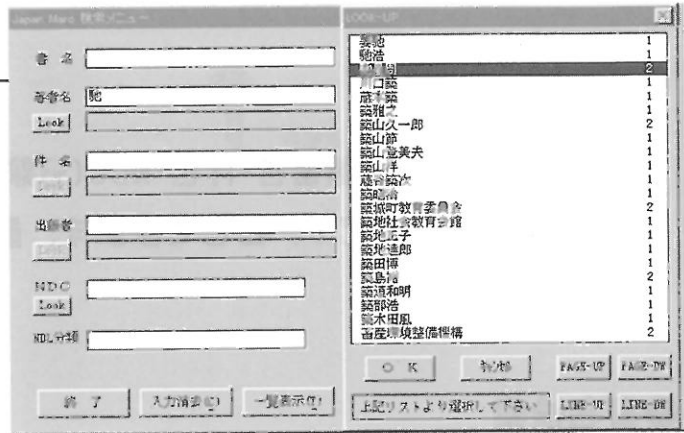
■入力方法

- ①完全一致検索[世紀末危機からの脱出]
- ②前方一致検索[世紀末危機]
- ②単語で検索[世紀末][世紀末*脱出]など。
(*印で単語のAND検索も可能。)
- ③ヨミで検索
[セイキマツ][セイキマツ*キキ]など。



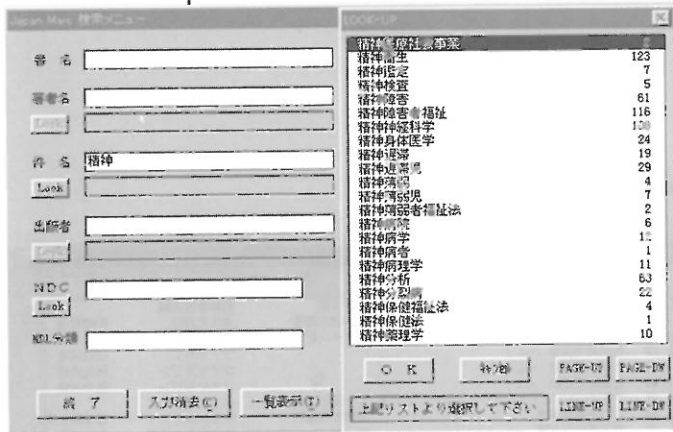
●著者名で検索

著者名を入力して検索します。フルネームが分からなくても大丈夫。著者の姓だけでも名だけでも検索できますし、LOOK-UPボタンを使えば著者名リストが表示されるので、たとえ著者名がうろ覚え状態でも検索を進めていくことが出来ます。漢字が分からない場合は著者名のヨミを入力して検索しましょう。



件名とは、ある主題や概念をことばで表したものです。件名で検索すると、書名や著者名からではなく、本の内容・本の主題による検索が可能です。ただし、J-BISCの場合は『国立国会図書館件名標目表』に基づいた件名ですので、思いついたことばを入力すれば何でもヒットするわけではありません。主題となることばを入力してノーヒットとなった場合は、J-BISC端末の横に『国立国会図書館件名標目表』(R/014/294-2)が用意してありますので、その本で調べたい分野や主題の件名を確定することをお勧めします。件名も漢字からでも、ヨミからでも検索できます。LOOK-UP機能を使えば、関連主題の件名が展開されるため、

主題を広げて検索したい場合には便利です。さらに、主題で探したい時には、分類番号(NDC)を使った検索をすることも可能です。



●件名で検索

J-BISCで検索した本のデータは、あくまでも国立国会図書館に所蔵されている本についての情報ですから、その本が南山大学図書館にあるかどうかは、別途、GEMMA-II (南山大学で所蔵している本を検索するためのコンピュータシステム) を使って調べる必要があります。紙面の関係上、簡単な紹介しか出来ませんが、J-BISCは、今回紹介した他にも便利な機能をいくつか備えていますので、是非お試しください。J-BISCに限らず、図書館にある「調べるための道具(レファレンス・ツール)」について分からないことがある時は、気軽にレファレンス・カウンターにお尋ねください。

(Yukiko YAMAGUCHI : 閲覧・参考係 山口 祐貴子)

続・谷川俊太郎詩集 請求番号[911K/1903/v.108]

尾形知哉

谷川俊太郎の詩には、誰でも一度は出会ったことがあるだろう。恐らくは小・中・高のいずれかの教科書の中で。ある人はそれが「ことばあそびうた」であったり、またある人は「二十億光年の孤独」であったりするかもしれない。ここではそんな谷川俊太郎の詩のひとつ、「うつむく青年」にまつわる私のエピソードを書くことで、紹介に代えさせていたきたいと思う。

私は、大学へ至るまでの道のりで、一年間浪人をしている。この詩に出会ったのが、最も焦燥感のつる浪人時代の秋だった。家と予備校をつなぐ電車の中で、それを何気なく読み進めていた私は、連を追うごとに次第に身体が硬直しだしたのを憶えている。言葉の一言、一言が心に突き刺さる。顔が火照り、叫び出したくなってくる。それを感動、と呼ぶのに私は少し違和感を覚える。なぜならそれは決して愉快的な体験ではなく、むしろ麻酔なしで手術をするような、苦痛を伴う体験だったからだ。だが、心に衝撃を受けることを全て感動と呼ぶのなら、やはりこれも感動の範疇に属する体験なのだろう。とにかく、やっとの思いでそれを読み終えた後、私は背中に「うつむく青年」と刻印されたような気がした。元来ひねくれものの私は、それまで世の中を斜めに構えて見ることで受験勉強への原動力にしていた。だが、その詩への過度の共感、そのような芸術的なものへ向かって努力する事を私に肯定させた。私が十六歳の時だ。高校に入ることを、ひねくれながらもただひたすら夢見ていた。谷川俊太郎の詩には、全て、共感を呼ぶ電波の送信機が組み込まれている。が、その電波の受信機は、ある特定の状況、瞬間においてしか作動しないものもある。今の私では「うつむく青年」にはなれないのだ。ともあれ、谷川俊太郎の詩集は、今、南山大学の図書館でひっそりと待っている。もしかしたら、これを読み終えた瞬間のあなたを。

(Tomoya OGATA : 文学部 学生)

図書館の思い出

田中雄三

早いもので、僕が南山大学の科目等履修生（聴講生）となってから、五年が過ぎてしまいましたが、校内で一番多くの時間を過ごしたのは図書館だったと思います。

それは多分、二十数年前に本当の大学生だった頃の図書館の思い出が強烈で、一番過ごしやすい場所だったという印象が、心の底に残っていたからなのでしょう。

僕の卒業した慶應義塾大学の三田の校舎には、みなさんもしかしたら写真で見たことがあるかもしれませんが、有名な赤煉瓦の図書館がありました。

ありました、なんて書くとなんだかなくなってしまったようですが、実は僕が卒業してから数年後に重要文化財だかなんだかになってしまい、今では簡単には入れないようで、赤煉瓦図書館とは別に近代的な図書館が建ち、学生はそっちを利用しているようです。

3・4年生のころは、朝取り敢えず図書館に行き荷物を置いてから授業に出かけたものですが、ある日閉館の合図はどうするのだろうという素朴な疑問を持ち、九時の閉館までねばっていたら、守衛さんがそれこそ明治時代に使ったような木の柄がついた真鍮の鐘を片手で振って鳴らしながら、各階を回って閉館を知らせにきたのには妙に感心してしまい、そのガランガランという鐘の音を聞きたいためだけに、よく最後まで本を借りて読んでいたものでした。

公共の図書館とは違い、いつもゆったりとしたスペースを楽しめる大学図書館で、沢山の本に囲まれながら自分のお気に入りの本を読むのは、時間がここだけ止まっているようで、とても贅沢で落ち着いた気持ちにさせてくれます。

赤煉瓦図書館の大きなステンドグラスと守衛さんの鐘の音、図書館のテラスで吸ったハイライトの煙、分厚い六法全書と何度読んでも分からなかった法哲学の本、僕の学生時代の思い出は全部図書館と繋がっているようです。

(Yuzo TANAKA : 科目等履修生)



春期図書館利用講習会のお知らせ

図書館を使いこなすための利用講習会です。
個人でも、ゼミ・授業単位でも参加できます。

講習の内容

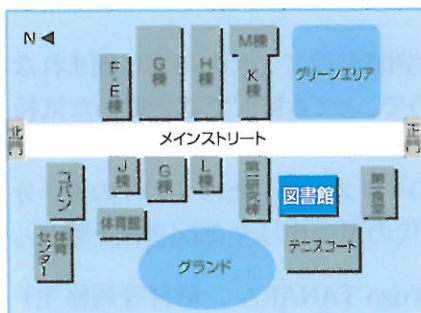
初 級 : 大学図書館の基本的な使い方を説明します。
図書館内を歩きながら本や雑誌の置いてある場所を
ご案内します。
(ライブラリー・ツアー方式)
1・2年生向きです。

中 級 : 主に卒業論文やレポート作成のための資料収集について、
詳しく解説します。
図書館内を歩きながら役立つ資料のある場所を案内したり、
CD-ROMやデータベースを使った資料の検索方法などを
紹介します。
3・4年生向きです。

開催日程 : 4月13日(火) ~6月30日(水)
詳細についてはレファレンスカウンターでお尋ねください。

所要時間 : 約60分

申込方法 : 図書館1F レファレンスカウンターで受け付けします。



《編集後記》

今回からタイトルデザインが新しくなりました。これからもデュナミスをご愛読下さい。

南山大学図書館報 デュナミス No.35 1999.4.1 発行

<http://www.nanzan-u.ac.jp/TOSHOKAN/>

発行: 南山大学図書館 広報委員会

編集委員: 山口、佐藤

印刷: 一誠社

〒466-8673

名古屋市昭和区山里町18

Tel: 052 (832) 3707

Fax(G3):052 (833) 6986